

研究課題名	血液透析導入患者における栄養評価指標の予後予測能の比較：3 年全死亡および心血管イベントとの関連
研究期間	2026 年 9 月 3 日 ～ 2029 年 3 月 31 日
研究の対象	2007 年 4 月から 2022 年 3 月に一陽会 原田病院（関連施設であり一陽会クリニック、横川クリニック、イーストクリニックを含む）で維持透析導入を行っており、維持透析を開始後 1 年以上の追跡が可能である患者さんを対象とします。 18 歳未満、活動性を有する悪性腫瘍、透析導入から 1 年以内に腹膜透析への移行や腎移植を受けた症例は除外します。
研究の目的・方法	【目的】 維持透析患者さんでは、透析をしていない方と比較しても低栄養や栄養障害をきたしている割合が高く、栄養状態が予後と関連することが報告されています。栄養状態を評価する指標として Prognostic Nutritional Index (PNI) や Geriatric Nutritional Risk Index (GNRI)、Nutritional Risk Index for Japanese Hemodialysis Patients (NRI-JH) が提唱されており、透析患者さんでの有用性も報告されています。しかし、これらの栄養評価指標のうち、どの指標が最も予後と関連するかについては、これまで十分に検討されていません。本研究は、血液透析を開始した患者さんを対象に、透析導入時の PNI、GNRI、NRI-JH と透析入後 3 年間の死亡および心血管イベントとの関連を評価することを目的としています。 【方法】 診療記録をもとに、血液検査の結果や持病、透析治療開始後 3 年間の経過をまとめて解析します。個人が特定できる情報はすべて取り除き、広島大学病院でデータを集積し統計的に分析します。
研究に用いる試料・情報の種類	研究に用いるデータは、透析導入となった原疾患（腎硬化症、糖尿病関連腎臓病、慢性糸球体腎炎）、透析導入時の年齢、性別、血液検査（白血球、好中球、単球、リンパ球、血小板、Hb、Alb、BUN、Cre、Na、K、補正 Ca 値、IP、総コレステロール、CRP）、Body mass index、内服薬（RAS 阻害薬、β 遮断薬、抗血小板薬、抗凝固薬）、併存疾患及び既往歴（高血圧、2 型糖尿病、脂質異常症、冠動脈疾患、脳卒中）、臨床的転帰（透析開始 3 年以内の全死亡、心血管死亡、新規心血管疾患の発症）であり、これらの臨床情報は電子カルテより後方視的に抽出します。 情報の管理責任者：広島大学病院腎臓内科 教授 正木崇生
利用または提供を開始する予定日	2026 年 9 月 3 日（実施許可日以降）

個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。番号と個人を識別する情報の対応表は一陽会 原田病院の研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	一陽会 原田病院から広島大学病院にデータを提供します。提供の際は、特定の関係者のみアクセス可能なクラウド（Proself 等）で共有します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院腎臓内科 教授 正木崇生 研究機関の長 広島大学理事 田中純子 研究代表者 広島大学病院腎臓内科 教授 正木崇生 共同研究機関 一陽会 原田病院 透析室室長 土井 俊樹
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 連絡先 広島大学病院 腎臓内科 担当者：沖本昂祐、大久保愛子 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-1506